

岩槻区ビジョン

(1) 景観特性と景観づくりの課題

◆景観特性

岩槻区は、区の中央を東武野田線が東西に通り、岩槻駅、東岩槻駅の2駅が位置し、鉄道沿線を中心に市街地が形成されています。

日光御成道の宿場町や岩槻城の城下町としてにぎわいを見せた歴史が、今もいきづいています。国指定の史跡真福寺貝塚をはじめ、三蔵法師とのゆかりが伝えられる名刹慈恩寺、桜の名所としても知られる岩槻城址公園、時の鐘、遷喬館など歴史や文化を伝える景観資源も豊富です。

また、人形のまちとして全国的にも知られ、人形店の並ぶ街並みが見られるとともに、流しびな、人形供養祭、岩槻まつりなど、人形と関わりの深い催しも多く開催されています。

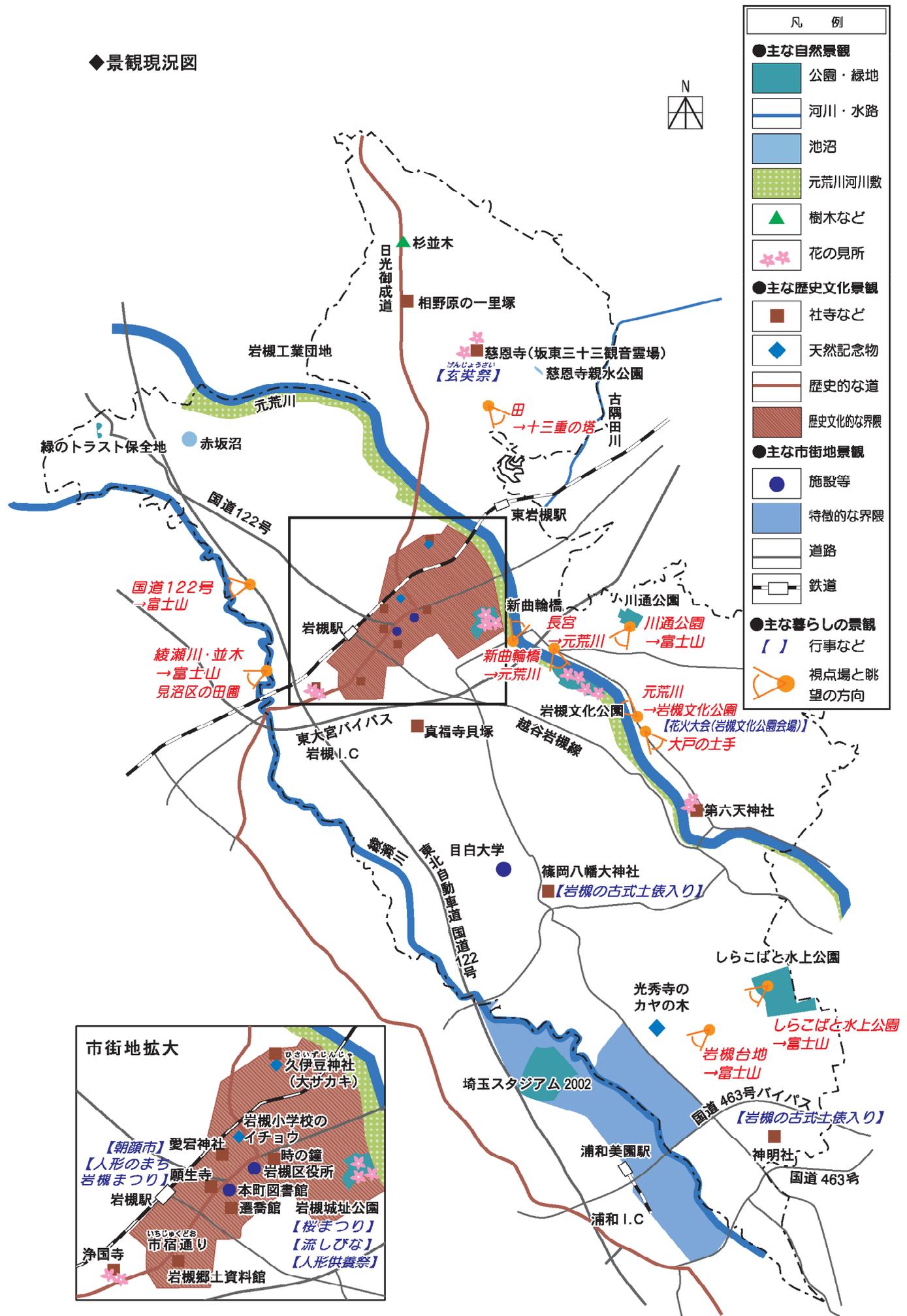
幹線道路として、国道 122 号、東大宮バイパスおよび国道 463 号バイパスなどが走っており、道路体系の骨格を形成しているほか、東北自動車道岩槻インターチェンジも立地しています。

市街地の周辺には緑地や農地が広がっており、特に台地にある屋敷林や雑木林と、元荒川や綾瀬川を囲む河畔林が一体となった景観は、水辺と緑に恵まれた岩槻区を代表するものといえます。



岩槻城址公園

◆ 景観現況図



◆景観づくりの課題

①岩槻駅周辺地区の景観

人形のまちというイメージも加わり多彩な商業・業務施設が集積していますが、今後さらににぎわいと魅力を高めていく必要があります。

岩槻駅西口は、都市基盤整備の推進により、これから創る景観に期待が高まります。

また、東岩槻駅では、周辺と調和しない形態意匠の建築物や屋外広告物により、雑然とした印象を与えるところもあり、地域の玄関口にふさわしい景観づくりが必要です。

②区内に点在する歴史文化資源の景観

区内には、城下町としての古い家並みが残っていると同時に、愛宕神社、遷喬館、慈恩寺、時の鐘、日光御成道の杉並木など、貴重な歴史文化資源が豊富にあり、今後、景観づくりに生かしていくことが必要です。

③元荒川や綾瀬川などの水辺とみどりの景観

元荒川と綾瀬川は、区の東と西にそれぞれ流れ、川沿いに残る河畔林などとともに水とみどりの景観となっていますが、支流の一部で河川の水質汚濁が見られます。

また、区の北部や南部の一带は雑木林、屋敷林、農地などによるみどりの濃い地域となっています。今後もこうした自然資源を大切にしていける必要があります。

④住宅地の景観

市街地は、戸建住宅を中心としており、屋敷林や生垣を有する住宅も多く見られます。しかし、道路が狭く、電線類が雑然とした印象を与える地区も見られます。

⑤新しい市街地の景観

岩槻南部新和西地区では新たな市街地の整備が進められており、隣接する緑区の美園地区とともに、新たな景観づくりが必要です。

⑥国道 122 号、東大宮バイパスなどの幹線道路沿道や岩槻 I.C 周辺の景観

区の景観づくりの骨格となる国道 122 号や東大宮バイパスなどの幹線道路の沿道や岩槻 I.C 周辺では、多くの商業・工業・流通業務施設が立地していますが、周辺に調和しない形態意匠の建築物や屋外広告物が見られ、雑然とした印象を与えています。

また、日光御成道の杉並木の保全や幹線道路の緑化が必要です。

(2) 景観づくりのテーマ

岩槻の歴史と自然との共生、優しさがにじむ景観づくり

城下町や宿場町、また人形のまちとして培った歴史文化資源とともに、元荒川などの豊かな水とみどりと共生する景観づくりを進めます。

また、住む人、訪れる人に優しく、うるおいと憩いを感じられる景観を目指します。



時の鐘

(3) 景観づくりの方針

① 岩槻駅周辺地区における歴史ある街並みを生かす景観づくり

- ・ 岩槻駅周辺では、建築物や屋外広告物の形態意匠に配慮し、人形のまち、副都心としてふさわしいにぎわいのある景観づくりに努めます。
- ・ 岩槻駅周辺では、街路樹の整備などみどりの創出に努めます。
- ・ 岩槻駅西口では、道路などの都市基盤の整備とともに、優しさを感じる景観づくりに努めます。
- ・ 東岩槻駅周辺では、建築物や屋外広告物の形態意匠に配慮し、地域の玄関口としてみどり豊かににぎわいのある景観づくりに努めます。

② 歴史文化資源を大切にす景観づくり

- ・ 慈恩寺などの歴史文化資源を大切にし、保全に努めます。
- ・ 久伊豆神社ひさいずなどの歴史文化資源周辺では、建築物の形態意匠や見通しなどに配慮し、風情ある景観づくりに努めます。
- ・ 遷喬館、時の鐘、岩槻城址公園など、区内に点在する景観拠点をつなぐ回遊ルートの検討やイベントなどにより、景観資源の周知と活用に努めます。

③元荒川や綾瀬川沿いの水とみどりを生かす景観づくり

- ・ 自然景観に配慮し、治水機能の強化と併せて、親水性のある景観づくりに努めます。
- ・ 元荒川などの河川周辺では、建築物の形態意匠に配慮し、水辺やみどりに調和するよう努めます。
- ・ 綾瀬川などの水辺とその周辺を一体的に捉え、河畔林、雑木林や農地などのみどりとともに保全に努めます。



元荒川

④落ち着いたみどり豊かな住宅地の景観づくり

- ・ 住宅地では、建築物の形態意匠に配慮し、地域の街並みに合わせた景観づくりに努めます。
- ・ 屋敷林などの保全に努めるとともに、生垣化などによりさらなる敷地内の緑化を促進します。
- ・ 気持ちよく歩くことのできる歩行者空間の確保に努めます。

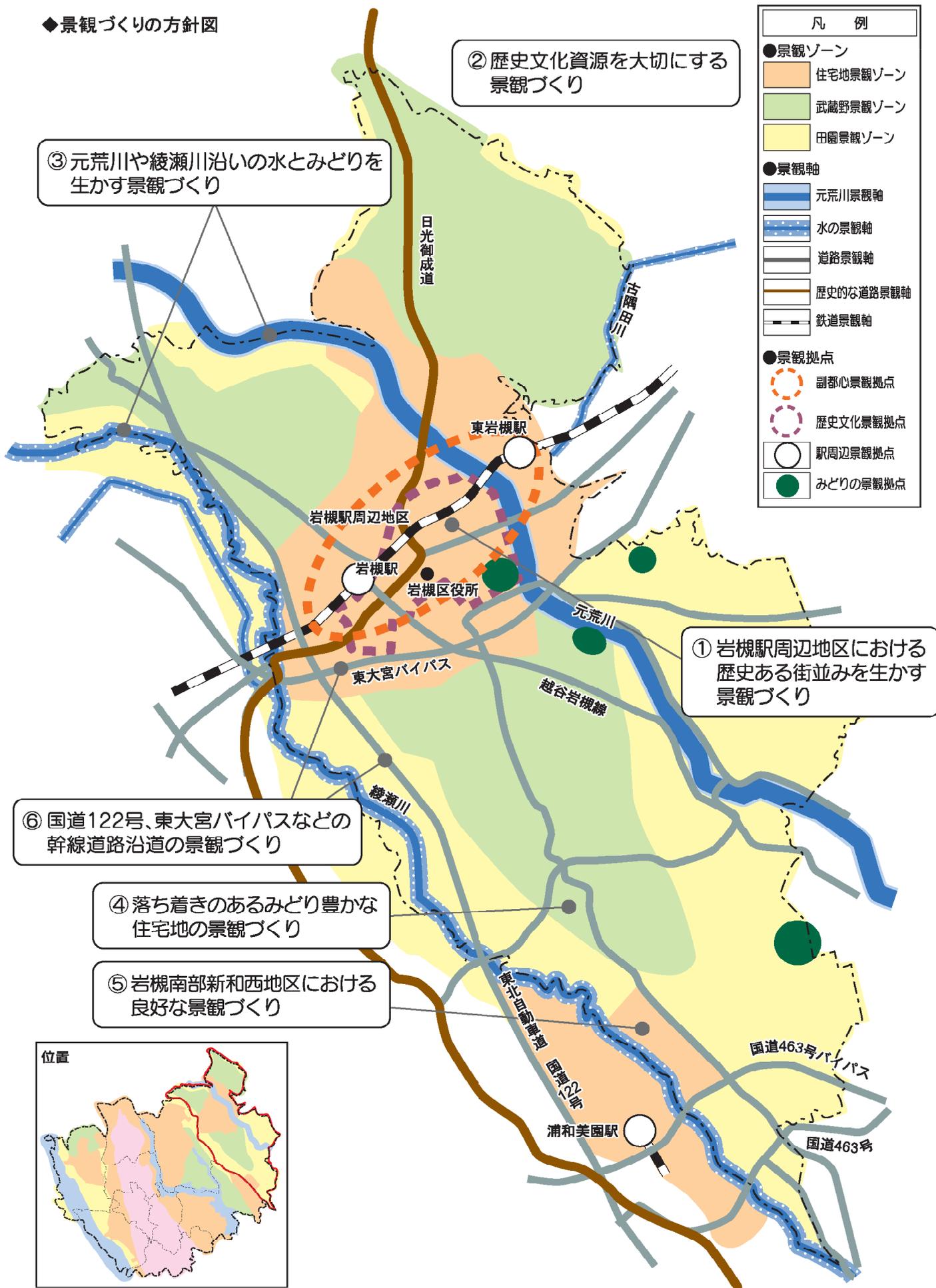
⑤岩槻南部新和西地区における良好な景観づくり

- ・ 岩槻南部新和西地区では、美園地区との一体的な都市基盤の整備に併せて、みどり豊かなゆとりある住宅地の景観づくりを図ります。
- ・ 住宅地では、建築物の形態意匠に配慮し、地域の街並みに合わせた景観づくりに努めます。

⑥国道 122 号、東大宮バイパスなどの幹線道路沿道の景観づくり

- ・ 国道 122 号などの幹線道路の沿道では、建築物や屋外広告物の形態意匠に配慮し、周辺に調和するよう努めます。
- ・ 道路の緑化と電線類の地中化に努めるとともに、沿道の建築物における敷地内の緑化を促進します。
- ・ 日光御成道の杉並木の保全・活用に努めます。

◆ 景観づくりの方針図



凡 例	
●	景観ゾーン
■	住宅地景観ゾーン
■	武蔵野景観ゾーン
■	田園景観ゾーン
●	景観軸
■	元荒川景観軸
■	水の景観軸
■	道路景観軸
■	歴史的な道路景観軸
■	鉄道景観軸
●	景観拠点
○	副都心景観拠点
○	歴史的な景観拠点
○	駅周辺景観拠点
●	みどりの景観拠点

位置

